

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 特別職報酬等審議会事務					
予算科目	01-020102- 人事管理費			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市特別職報酬等審議会条例			SDGs		

事業の概要

対象	
目的	市長、副市長及び教育長の給料並びに議員報酬及び政務調査費の適正額を確保する。
概要 (取組内容)	市長の諮問に応じ、市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議員報酬及び政務調査費の額を審議する。 つくば市特別職報酬等審議会で決定した内容を市長に答申する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	240	192	192	
	決算額	(千円)	0	0	176	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	176	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	680	5,167	2,050	2,050	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.70	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	157.30	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	市民委員の参加
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	議員報酬及び政務活動費の額を審議するため、学識経験者、弁護士、社労士、商工関係者、区会関係者、市民委員（3名）を選任した。類似団体、周辺自治体等の状況を比較分析し、資料として使用した。	
成果	審議会を3回開催し、令和4年2月22日に市長へ答申を行った。 答申の内容は、議員報酬及び政務活動費の額を据置きで、付帯意見として、①定期開催とすること、②次回は2年以内に開催すること、③政務活動費については議員同士で意見交換を行うこと、④私事で不在にする議員の報酬の減額規定について検討することが付け加えられた。	
課題	業務	次回の開催の準備
	組織、予算等	
改善目標	次回の開催の準備として、「議員報酬のあり方」の調査研究 審議会へ議員個々の意見をヒアリングできる仕組みの検討	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	042 職員の給与・福利厚生事務					
予算科目	01-020102-12 給与事務・福利厚生に要する経費			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	給与・厚生係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市職員の給与に関する条例、地方公務員等共済組合法、市町村職員退職手当条例、健康保険法、他			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	職員
目的	公務能率の増進
概要 (取組内容)	給与・各種手当の支給、給与からの控除、団体保険に関すること、年末調整、給与予算編成、会計年度任用職員予算令達 等 退職手当に関すること、共済保険証関係（就職・退職・扶養など）に関する事務、職員の病気等の給付事務、共済年金に関する事務、職員互助会に関する事務、公務災害に関すること、会計年度任用職員の社会保険・雇用保険に関する手続 等

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	48,897	48,743	49,955	49,955	
	決算額	(千円)	265,035	47,437	48,823	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	265,035	47,437	48,823	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	27,207	23,622	24,092	23,905	23,905	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.70	3.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	857.00	1,312.00	1,477.00	1,400.00	1,400.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	業務の改善・事務の効率化のため、業務体制の見直しを行い、今後の委託内容へ反映することができた。	
成果	給与、厚生各事務について、委託業者との連携のもと、事業計画のとおり遅滞なく実施できた。	
課題	業務	共済組合、総合事務組合等、委託業務の関連機関とのやり取りにおいて、委託業者と市の業務体制を明確にし、より効率的な事務執行を図っていくこと。
	組織、予算等	
改善目標	引き続き委託業者との連携を密にし、業務整理を行うとともに、新たな業務内容が円滑に移行できるよう情報共有を行う。	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 職員採用試験事業					
予算科目	01-020102-13 人事管理に要する経費			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方公務員法			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	市民、市外在住の人
目的	継続的な市政運営体制を維持し、住民福祉の向上を図る。
概要 (取組内容)	<p>事務職のみならず、専門職等の即戦力となる人材及び次世代のつくば市を担う人材を採用する。 優秀な人材を採用するため、選考を段階に分けて実施する。</p> <p>① 1次試験 基礎能力試験等 ② 2次試験 集団面接等 ③ 最終試験 個別面談</p>

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	7,472	6,739	5,588	5,588	
	決算額	(千円)	4,690	5,327	4,036	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,690	5,327	4,036	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,650	10,537	9,595	10,859	10,859	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.30	1.30	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	599.00	690.86	292.12	250.00	250.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報紙での情報発信
企画・立案、計画	
実行	ホームページや広報紙での情報発信
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	採用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	80.0	82.0	130.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	当該年度に実施した採用試験の結果により採用された職員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	都道府県や政令市等の他自治体の試験日程を考慮して試験日程を見直した結果、内定辞退率が低減した。新たなWEB試験の導入により、検査項目を維持しながら試験にかかる経費を削減した。	
成果	通常の採用の他、社会人経験者、消防の経験者、窓口任期付職員、広報企画員、ファンドレイジング推進監、参事（医療・介護データ連携担当）、幼稚園長、学校ICT指導員、特別支援教育推進室長、障害者（10/1, 4/1, 6/1採用）などを行い、必要な人材を確保することができた。また、レファレンスチェックや動画面接の手法を取り入れる準備を整え効果的かつ効率的な人材確保のため新しい手法を検討できた。	
課題	業務	主に専門職採用における母集団拡大に向けた広報機能の強化（ホームページ）
	組織、予算等	引続き、効率的で効果的な試験運用の検討
改善目標	適切な人事配置を見据え、各試験区分等での必要な人材（長期的・近視眼的）を明確化した採用を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	044 人事制度に関する事務					
予算科目	01-020102-13 人事管理に要する経費			担当部課	総務部人事課	
市長公約	12			係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方公務員法			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	職員
目的	公務における規律と秩序の維持、更に職員個々の資質や能力の向上に努めることで、市民サービスの向上を図る。
概要 (取組内容)	国家公務員における人事制度の取組及び地方公務員法の趣旨をベースに、人事に関する諸制度の検討・運用を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	5,198	6,878	6,722	6,722	
	決算額	(千円)	48,605	4,969	6,657	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	48,605	4,969	6,657	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	27,681	23,629	22,140	23,326	23,326	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.80	3.10	3.00	3.20	3.20
		正職員時間外勤務	(時間)	774.00	1,038.25	674.14	600.00	600.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報誌での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	任期の定めのない常勤一般職の職員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,926.0	1,937.0	1,937.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,926.0	1,936.0	1,937.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	各年度4月1日時点 前年度実績を基に次年度目標を定める。						

2	指標名	事務職以外の専門職及び社会人経験者の採用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	48.0	37.0	58.0	0.0	0.0	0.0
	実績	48.0	37.0	58.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各年度の採用者総数 前年度実績を基に次年度目標を定める。					
3	指標名	人事異動職員数割合 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	19.4	20.7	20.4	0.0	0.0	0.0
	実績	19.4	20.7	20.4	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各年度4月1日付け人事異動(対象範囲に対する割合)					
4	指標名	市からの派遣及び市への受入れの合計人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	34.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	実績	36.0	34.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各年度当初における人数					
5	指標名	人事評価者訓練研修受講人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	512.0	113.0	308.0	0.0	0.0	0.0
	実績	512.0	113.0	308.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	令和3年度は動画視聴のため、訓練研修対象人数					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	評価者と被評価者がコミュニケーションを取れるよう、面談の重要性を周知した。
成果	人事異動については、人事評価結果、自己申告書等を積極的に活用した。子のための看護休暇についてはその対象範囲を家族に拡大した。パートナーシップの関係にあるものを、配偶者と同様の取扱いとするための休暇制度の改定を行った
課題	業務 人事評価制度について、人材育成や組織目標を達成するための側面についての視点が足りない。昇格・昇任を目指す職員が少ないこと。
	組織、予算等 会計年度任用職員の処遇(期末手当等)について改善の余地がある。
改善目標	全ての職員がモチベーションを高く持ち日々の業務に取り組める環境を引き続き整えていく。各部署の状況を適切に把握し、適性な人数の人事配置に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	